

2022年の四旬節のエコカレンダー

参考: 教皇フランシスコ 回勅『ラウダート・シ とともに暮らす家を大切に』

※LS●●は『ラウダート・シ』の段落番号です。

日	月	火	水	木	金	土
			3月2日 テクノロジーが生活水準を向上させたことに感謝しながら、今日は節電をしよう。	3月3日 貧困や飢餓など様々な理由より苦しめる人々のために祈って、愛に満ちた行動を一つでもしよう。	3月4日 環境に負荷を与えないエネルギー、あるいは枯渇しかけている資源には何かがあるのか調べてみよう。	3月5日 わたしたち消費者の行動が社会全体に影響を与えていることを自覚して、エシカルな買い物をしよう。
			LS101~105	LS137~142	LS163-169	LS202-208
3月6日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日
悪への誘惑に打ち勝つ道を歩ませてください。	生物への健康被害や地球環境の悪化につながる私たちの行動は何か振り返ってみよう。	自分たちがもたらす自然破壊について、人類の責任を自覚しよう。	環境とテクノロジーがどのようになら共存できるか考えよう。	自分たちの住んでいる地域の歴史や伝統などを調べて身近なところから文化的なエコロジーを実現していこう。	プラスチックのリサイクルについて正しく理解し、マイボトルを持つなど環境への負荷を少なくして過ごそう。	感謝の気持ちをもって今までに知った環境のことを振り返りながら、不必要なものを買わないように過ごそう。
四旬節第1主日	LS20-22	LS62-64	LS106-110	LS143-146	LS170-175	LS209-215
3月13日	3月14日	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
神よ、あなたの顔の光をわたしたちの上に照らしてください。	洗剤をはじめとした日用品の化学製品を今日は使わず、環境に配慮した行動をしよう。	この地球の試練の時こそ、神の愛情を信じ、新たな力を見出そう。	今日一日スマホを使う時間を制限して人のかかわりの大切さを感じよう。	街の環境は人どうしの温かい関わりがあってこそ改善され犯罪も減らせる。そんなヒューマンエコロジーについて考えよう。	気候と環境保護に関する政策に真正なヒューマンズムがあるようはたらきかけよう。	世界は愛のこもった神からの贈り物。自己犠牲と善行を通して神の惜しみない心に応えて行動しよう。
四旬節第2主日	LS27-31	LS65-75	LS111-114	LS147-150	LS176-181	LS216-221
3月20日	3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日
心を尽くして神をたたえ、すべての恵みを心に留めよう。	目に見えないところにも生物の生態系へのはたらきがあること、それを無視しては生態系のバランスが保てないことを知っておこう。	自然に感謝し、環境に配慮する行動をしていこう。	神様から与えていただいた自分という存在を自覚し、大切にしていこう。	不衛生なスラムや危険な集合住宅で暮らす貧しい人々のことを心に留めて、街のあるべき姿を考えよう。	再生可能エネルギーに関心をもち、家族や友人と話す時間を持とう。	神様からいただいた「日常」という贈り物、またその平和な日常のために働いてくださる方々への感謝の気持ちを表そう。
四旬節第3主日	LS32-36	LS76-83	LS115-121	LS151-153	LS182-188	LS222-227

日	月	火	水	木	金	土
3月27日	3月28日	3月29日	3月30日	3月31日	4月1日	4月2日
主を仰ぎ見て、光を受けよう。主が訪れる人の顔は輝く。	健康に暮らせる街づくりを心がけるために冷暖房の使い方を見直そう。	自分自身も周りの人や物に助けられていることを自覚し、自分も誰かのために行動しましょう。	世界で強制労働を強いられている人たちについて調べ、自分も似たようなことをしていないか考えてみよう。	自分の住んでいる市町村がどのようにジェンダー問題に取り組んでいるかを調べてみよう。	貧しい人々の不安に思いを巡らせ、真剣に考えてみよう。	お互いを配慮する言葉は大切。それは友達関係だけではなく市民社会においても共通善としてはたらく愛を実践しよう。
四旬節第4主日	LS43-47	LS84-88	LS122-123	LS154-155	LS189-194	LS228-232
4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日
主は言われる「見よ、新しい事をわたしは行う。わたしはわたしの民に水を飲ませる。」	市民一人ひとり、また国家間に不平等があり、大きな影響があります。どのようにしたら不平等がなくなるかを考えてみよう。	余分に食べ物や物を廃棄していないか、自分自身や身の回り見て、状況を変えてみよう。	この世界のために働くということは神様が私たち自身に刻まれた可能性を引き出すこと。それを意識して地球のために貢献しよう。	共通善の実行ある達成のために、自分たちの周りを見渡して、貧しい人へ祈る時間を作ろう。	環境への気遣いともっとも弱い立場の人々の保護が政治や経済に繁栄されるようはたきかけよう。	朝歩く道の一滴の露、ひとひらの葉、そして貧しい誰かの顔に意識をとめよう。
四旬節第5主日	LS48-52	LS89-92	LS124-129	LS156-158	LS195-198	LS233-237
4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日
主なる神は、朝ごとにわたしの耳を呼び覚まし弟子として聞き従うようにしてくださる。	環境保護を考えて地球の恵みを次世代に受け継げるように、今日は何かを節約して過ごそう。	世の中には経済格差があるけれど、富はみんなのためにあることを改めて考えよう。	現代の農業や畜産業における技術や社会システム技術が倫理的かどうか考えるために関心をもって調べてみよう。	生息可能なこの惑星を将来世代に残すことは、何よりもまず、わたしたちにかかっていることを自覚しよう。	環境や貧困の問題に取り組むため、忍耐と自己鍛錬と広い心が求められる対話の海へと漕ぎ出そう。	この世界を知恵の眼(まなこ)で見られるよう、マリア様のお取り次ぎを願って祈ろう。
四旬節受難の主日	LS53-59	LS93-95	LS130-136	LS159-162	LS199-201	LS238-242
4月17日	不二聖心女子学院高等学校 1年生(2021年度)					
きょうこそ神が造られた日、喜び歌え、この日をともに。						
復活の主日						